

～電気柵「設置」のチェックシート～

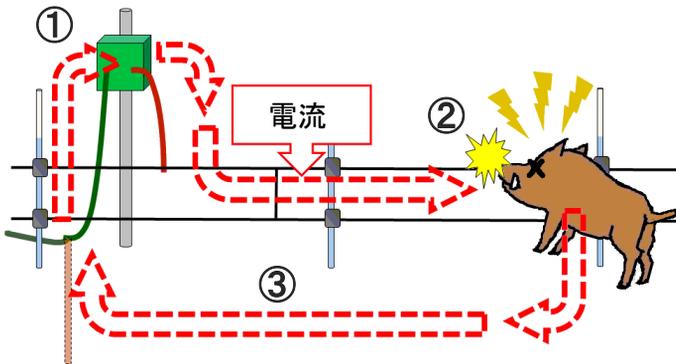
正しく設置していない電気柵は「ただのひも」！
効果を高めるため、以下のポイントをチェック！！

□ イノシシを呼び込んでいませんか？

- 農地のまわりにイノシシが隠れる「茂み」や「やぶ」がないか？
- 農地の中やまわりに生ゴミの捨て場や、放任した果樹がないか？

まずはイノシシが「安心して近づけない」「近づく価値がない」環境づくり

□ 電気柵のしくみを理解していますか？



- ① 電圧は5,000～8,000ボルト
 - バッテリーは劣化していないか？
 - 柵線にガイシ（碍子）以外（草木、石、支柱など）が触れていないか？
 - 適度な間隔で上下結線があるか？
- ② 「鼻」でさわらせる
 - 全ての場所で柵線の高さは20cmと40cmか？（イノシシ用）
 - ガイシ（碍子）は外向きか？

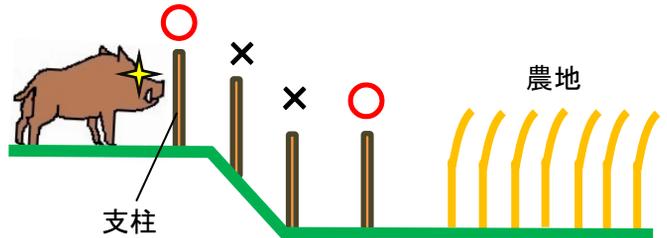
③ 地面を通じて回路ができる

- アースは正しく設置されているか？
- 外側の地面は電気を通しやすいか？
 - ・ アスファルトやコンクリートから50cm以上離す

どれかが欠けても
電気柵が「ただのひも」に！

□ 電気柵の使用に適した条件ですか？

- 農地をぐるりと囲める地形か？
- 土地に極端な凹凸や傾斜がないか？
 - ・ なるべく平らな場所に設置
 - ・ 設置前に地ならしをする
- 中型獣類による被害はないか？



柵線を張る前に地ならし
条件によって電気柵以外の対策を追加

電気柵の外側には平坦な場所を確保

□ 安全性が確保されていますか？

- 危険表示は正しく設置したか？
- ひとつの電気柵には本機が1台だけか？
- コンセントから電源をとる場合は、高速漏電遮断器を使用しているか？



法律の基準を満たす電源装置を使用せずに
コンセントから直接電気を流すことは絶対禁止！

コンセント差し込み型
高速漏電遮断器の例

～電気柵「管理」のチェックシート～

きちんと管理されていない電気柵は「ただのひも」！
効果を高めるため、以下のポイントをチェック！！

□ 管理する人を決めていますか？

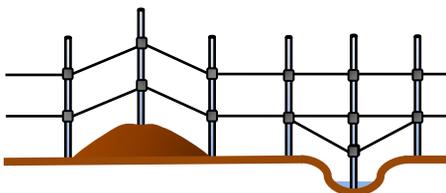
- 全体あるいは区画ごとに責任者を決めているか？
- 電圧チェックの担当者や頻度を決めているか？
- 電気柵まわりの草刈りの担当者や頻度を決めているか？
- ゲート管理の担当者を決めているか？



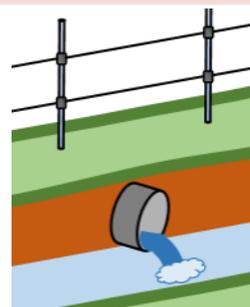
集団で電気柵を設置する場合は、文書で取り決めを

□ 侵入されそうな場所や侵入された場所は対策をしていますか？

- 溝や地面の凹凸にあわせて柵線の高さを調整しているか？
 - ・支柱を増やす
 - ・柵線の本数を増やす
 - ・取排水口を埋め込み管に
 - ・地ならし
- 支柱はまっすぐ立っているか？
- 柵線にたるみはないか？



凸凹への対応例

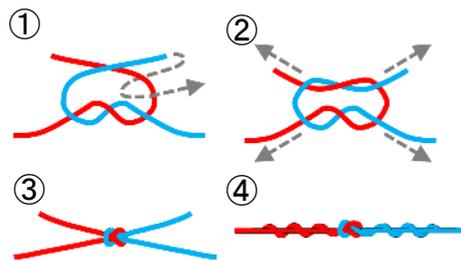


溝を埋め込み管に

気づいたら、すぐ対処！

□ 電圧が4,000ボルトを下回ったら、きちんと対処していますか？

- 本機、バッテリー、アースは正常か？
 - ・バッテリーはゼロになる前に充電
(ソーラーパネル型も雨続き後は要注意)
 - ・バッテリーが劣化したらすぐ交換
- 柵線が草木(枯草・枯枝含む)に触れていないか？
- 柵線が支柱(FRP支柱を除く)に触れていないか？
- 断線やゲートの閉め忘れはないか？
- 結び目などでパチッという音がしていないか？
 - ・柵線が切れたときは「本結び」
 - ・結んだ余りは本線にしっかり巻き付ける
 - ・結び目には大きな「こぶ」や「隙間」を作らない
- 本機的能力以上に柵線を延長していないか？

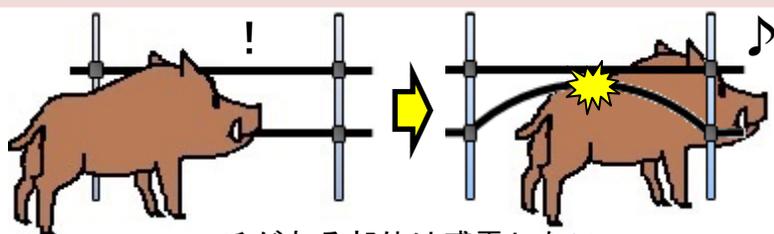


柵線の結び方
(本結び+巻き付け)

大雨・大風の後には必ず見まわり！

□ 電気柵が効かないイノシシを生み出していないですか？

- 柵線を設置したらすぐ通電
- 昼も夜も通電
- 通電しない期間は柵線を撤去



毛がある部位は感電しない

**くぐり抜けを覚えられると
感電させられなくなる！**